

令和6年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・製作活動を通して互いの作品を見合ったり、教え合ったりする姿が見られ、学び合う態度が身に付いた。
- ・家庭で取り組む課題を出したことで、授業で学んだことを実生活の中でも実践することができた。家庭での仕事を手伝うようになったり、普段の生活習慣を改善したりする様子も見られた。また、実践報告会を設定することで、友達の考えを参考にし、自分の考えを広げることができた。

(2) 課題

- ・児童が主体的・協働的に学ぶための、指導方法や問題提示の工夫
- ・「ソーイング」の単元での、時間内に終える工夫
- ・ICTの効果的な活用

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・動画教材を活用し、用具の扱い方や作業ポイントを分かりやすく説明する。 ・基礎的、基本的な内容は、繰り返し練習したり、ペアで作業したりする場を設定する。 ・保護者に作業補助のボランティアとして協力を求め、正しい手順や道具の使い方についての定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な実践例を提示し、児童が必要に応じて実践例を参考にしながら、活動に取り組むことができるようにする。 ・話し合い活動や実践報告会を設定することで、友達の考えを参考にしながら、自分の考えを広げられるようにする。 ・児童が課題意識をもって取り組めるように、学習カードやワークシート、資料をわかりやすく工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活から課題を見付けたり、家族と話し合ったりする機会を設定することで、児童が家族の一員としての自覚をもち、主体的に取り組もうとする意欲を高める。 ・学習したことを実生活にも生かせるよう、家庭での仕事(調理や掃除、片付けなど)に取り組む機会を設定する。